

麴町中学校だより



第6号 令和6年9月27日発行

校長 堀越 勉



教育目標

自主性

社会性

創造性

勉強に向かう麴町中学校

◎「もっと、勉強しやすいテストの仕組みにしたい」 ◎「夏休みも学校で勉強がしたい」等の子どもたちの声を基に、今年度、様々な取り組みを実現しています。

第2回単元・題材テスト期間に向けて

9月26日（木）から27日（金）までの2日間は単元・題材テスト期間です。2週間前から、全校生徒がテスト勉強モードに入っています。目標に向かって全力で集中して取り組む経験を積み重ね、学力向上とともに、精神的にも体力的にも成長していきます。特に3年生は、いよいよ進路選択の時期が迫ってきており、真剣さと緊張感が急上昇しています。普段の授業でも、目の色が変わってきており、授業内容に関する質問や提出物の最終チェックなど、意識が高く気合の入りが違ってきています。「放課後麴中塾」では、希望した生徒が約2時間残って大学生に質問できます。8日間で延べ140名の生徒が参加し、テスト勉強に取り組んできました。



放課後麴中塾



昨年度まで実施していた「単元テスト」はテストを細かく分割してあることから、一回の実施期間が5週間にも渡っていました。これにより、生徒から「勉強のしにくさ」や「モチベーションが続かない」

などの様々な問題点があげられていました。そこで、これらを改善して今年度から「単元・題材テスト」を実施しています。これは、いわゆる「定期テスト」とは異なります。定期テストでは、期末テストや学年末テストの際に、「習ったところ全てが範囲」となり、テスト範囲が長すぎて勉強しにくいケースもありました。単元・題材テストでは、一定期間に学習した大単元や題材の範囲に限定して出題されますので、勉強や振り返りがしやすく、学習内容の定着にも効果的です。これまでの単元テストや従来の定期テストの問題点を改善し、新たなテストが定着しています。



全力集中！（26日のテスト）

単元・題材テストと定期テストの違い

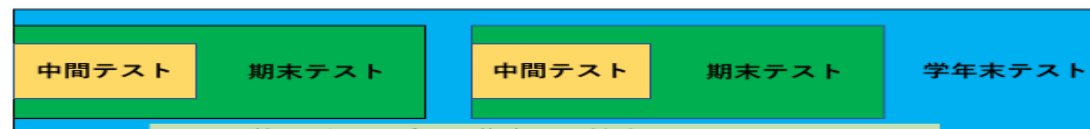
これまでの単元テスト



今年度の単元・題材テスト



いわゆる定期テスト



テスト範囲が長すぎて、集中して勉強できないこともある。

(イメージ)

学校で勉強できる夏休み（報告）

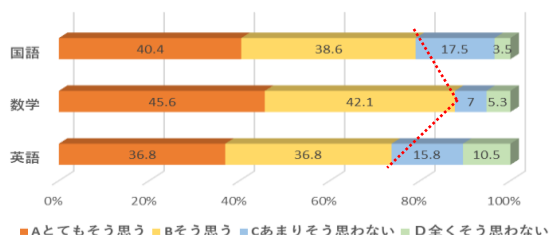
「シン麹中塾」



国語・数学・英語の学習講座に93名が登録し参加しました。10日間の学習では、アドバンスコースとベーシックコースを教科ごとに自分で選択して、テキストに真剣に向き合いました。勉強する楽しさを味わいました。



学力の向上が感じられましたか



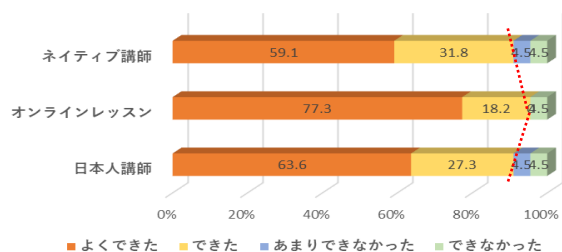
＜生徒アンケート抜粋＞◎毎日勉強する習慣が付いてよかった。◎夏休みに勉強する機会を作ってくれて、なかなか会えない友達や先生などにも会うことができとても嬉しかった。◎2学期の予習ができた。◎9月の内容の予習までできて、参加してよかったと思った。◎夏休みも友達に会えた。対面かつ少人数（アドバンスだったため）だったので普段の授業やオンラインの塾では聞きづらい多くの質問に答えてくださった。◎「自力で問題を解けるようになった」ということを自分で気付けるようになってくれた。◎来年ある場合はぜひ参加したいです。

「イングリッシュコース」



英会話力の向上を目指して48名の生徒が登録し、10日間の講座に参加しました。海外のALTとインターネットを介してのコミュニケーションなど、積極的に取り組みました。

楽しみながら参加できましたか



＜生徒アンケート抜粋＞◎聞き取れなくてもやさしくチャットで教えてくれたりしてやりやすかったです。◎回を重ねるごとにだんだん英語がわかるようになりました。◎徐々にレッスンを積み重ねたことにより、大抵は聞き取り応答することができた。◎受講して本当に良かったと思っている。ネイティブの先生とも仲良くなれたので、これから様々な外国の方とも英語を通じて仲良くなっていきたいと思った。◎ワクワクしたし、英語が共通語なら話せる範囲も広がると感じられた。◎ぜひ来年も実施してほしいと思った。

先生たちも勉強中（3校交流授業研究の日）



理科の研究授業



国語の研究協議会



数学の研究協議会

先生方も研修を積み重ね、より分かりやすい授業を目指しています。9月18日に、麹町中・神田一橋中・九段中等教育学校等による「3校交流授業研究の日」の研究授業を行いました。東京都内の国語の先生方15名も視察に訪れ意見交換をしました。千葉県からは13名の校長先生方が県外研修としてご来校くださいました。各参加者の皆様から、様々な意見をいただき、授業改善に向けて一歩ずつ前進しています。